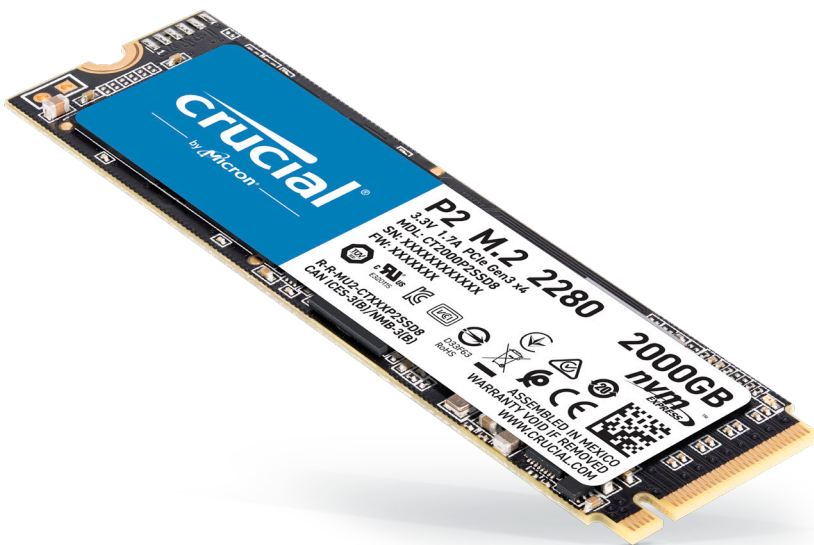


CRUCIAL P2 SSD



コンピューターの潜在能力を 最大限ブーストさせる。

高速、手ごろな価格、高い信頼性。
多額の費用をかけることなく、必要な速度を完全に実現。

職場でも、ゲーム中でも、外出先でも、通常の起動速度では計画どおりにいかないことがあります。Crucial[®] P2 SSDならあっという間です。最新のNVMe™テクノロジーによりパフォーマンスが加速した、大容量ストレージのP2は、コンピューターの潜在能力を引き出すのに必要な速度と信頼性を備えています。



最速 2400MB/s⁴
の驚異的スピード

5

5年間の
保証²

より多くの処理を、より早く。

NVMe™の違いを実感してください。Crucial P2が、コンピューターのパフォーマンスを引き出し、読み込み時間を短縮し、データの転送速度を上げてくれます。¹

持続する信頼性

何千時間もの検証、何十回もの品質テスト、数々の賞に輝いたSSDシリーズであること、そして5年間の限定保証に裏付けられています。²

安心感

パフォーマンスの最適化、データセキュリティ、ファームウェアの更新用にSSD管理ソフトウェアが搭載されています。

世界最大級のストレージメーカー

Crucial®はマイクロンに期待される品質とエンジニアリングのイノベーションにより支えられています。マイクロンは40年以上にわたり、世界の最先端メモリとストレージテクノロジーのメーカーであり続けています。

製品寿命 (MTTF)

150万時間

耐久性

2TB : 総書き込みバイト数 (TBW) 600

1TB : 総書き込みバイト数 (TBW) 300

500GB : 総書き込みバイト数 (TBW) 150

250GB : 総書き込みバイト数 (TBW) 150

データ転送ソフトウェア

Acronis® True Image™ for Crucial®(クローニングソフト)

動作温度

0°C~70°C

準拠

CE, FCC, VCCI, KC, RCM, ICES, モロッコ, BSMI, ウクライナ, UL, TUV, 中国RoHS, WEEE

高度な機能

- ダイナミック書き込みアクセラレーション
- 複数の個別NANDによる冗長アレイ (RAIN)
- マルチステップデータ整合性アルゴリズム

- 適応型熱保護
- 統合型電源損失耐性
- アクティブガベージコレクション
- TRIMサポート
- NVMe標準のSelf Monitoring and Reporting Technology (SMART)
- エラー訂正コード (ECC)
- NVMe Autonomous Power State Transition (APST) サポート

保証

5年間の保証または
2TB - 600TBW、
1TB - 300TBW、
500GB - 150TBW、
250GB - 150TBW²

インストール

crucial.com/ssd-installから分かりやすい説明書とステップバイステップガイドを入手できます。

サポート

リソースと保証についての詳細は、crucial.com/supportをご覧ください。

Crucial® P2 SSD

容量³	部品番号	シーケンシャル 読取⁴	シーケンシャル 書き込み⁴	梱包内容
2TB	CT2000P2SSD8	2400MB/秒	1900MB/秒	Crucial® Storage Executive Acronis® True Image for Crucial Crucial SSD簡単取り付けガイド
1TB	CT1000P2SSD8	2400MB/秒	1800MB/秒	
500GB	CT500P2SSD8	2300MB/秒	940MB/秒	
250GB	CT250P2SSD8	2100MB/秒	1150MB/秒	

1. 公開されているCrucial P1 SSDとCrucial MX500 SSDの仕様に基づいた速度の比較

2. 保証は、最初の購入日から5年間、または製品データシート上に記載されているように、製品のSMARTデータで測定された最大総書き込みバイト数 (TBW) が書き込まれるまでのうち、いずれか早く到来する日まで有効です。

3. ストレージ容量の一部はフォーマットおよびその他の目的に使用されるため、データストレージとしては利用できません。1GBは約10億バイトです。初回起動時には全容量は使用できません。

4. CrystalDiskMark®を使用し、キューの深さ64 (QD = 8、スレッド = 8)、書込キャッシュ有効状態で測定された一般的なI/Oパフォーマンスの数値。開封後未使用 (FOB) 状態を前提とします。パフォーマンス測定を目的としてSSDをFOB状態に戻すには、Secure Eraseコマンドを使用できます。システムのバージョンによって測定結果は異なります。